

ま え が き

この統計書は、武蔵村山市の人口、財政、産業、教育などの各分野における基本的な統計資料を集録し、市の動勢を紹介するものです。

統計は、実態を客観的に表すことで現況や変化を正確に把握でき、効率的で説得力のある対応や施策の礎となるものであります。

また、各種統計データは、これから進むべき方向性を指し示す羅針盤の役割も果たす大変重要な資料でもあります。

編集に当たっては、可能な限り最新の資料の収集に努めましたので、本書によって市勢の現況などをお知りいただくとともに、各種の学術研究及び社会・経済活動などの参考資料として御利用いただければ幸いに存じます。

なお、本書の発刊に当たり、貴重な資料を提供していただきました関係機関の御協力に厚くお礼申し上げます。

平成 30 年 3 月

東京都武蔵村山市長 藤 野 勝

市 章



(昭和45年11月3日制定)

武蔵と村山の頭文字である「ム」を鳩の姿に図案化したもので、中央の円は市民の融合を表し、飛翔する全体の姿は産業と文化の飛躍を象徴し、限りない市の発展を表しています。

市 の 木



榎

(昭和50年11月3日制定)

榎は、ニレ科の落葉高木です。
江戸時代には、街道の一里塚として植えられ、「三本榎」は市史跡に指定されています。

市 の 花



茶の花

(昭和50年11月3日制定)

茶は、ツバキ科の常緑灌木です。
10月ごろに、香り豊かな白い花を咲かせます。市特産物の狭山茶にちなみ、市の花として選ばれました。

市 の 鳥



メジロ

(平成12年11月3日制定)

メジロは、公園や庭先にもよく来て春はウメ、サクラ、ツバキ等の花の蜜を吸い、秋には柿の実をついばみチューチューピーチューと早口で繰り返しさえずります。

現在、狭山丘陵はもとより市内各地で多く見られる鳥です。

武蔵村山市民憲章

わたくしたちは、狭山丘陵などの歴史的な自然環境を大切に
し、伸びゆく本市の未来に希望をもち、太陽と緑あふれる近
代都市をつくるため、市民憲章を定めます。

- 1 太陽と緑を大切にし、生活と自然が調和したよいまち
をつくりまします。
- 1 教養を深め、情操を養い、文化の薫りあふれるまちを
つくりまします。
- 1 健康で働くことに喜びを持ち、明るい家庭のまちをつ
くりまします。
- 1 心のつながりを大切にし、互いに尊敬し、助け合い、
潤いのあるまちをつくりまします。
- 1 社会のルールを守り、自治意識を高め、平和で住みよ
いまちをつくりまします。

(昭和55年11月3日制定)

武蔵村山市非核平和都市宣言

平和を希求する心は私たち人類の共通の願いであります。

しかし地球上には全世界の人類と文明を一瞬にして滅亡させて余りあるほどの核兵器が存在しております。

そしてこれらを保有している国々の間では依然として核軍備の激しい競争が行われ人類は核戦争の恐怖と脅威にさらされているところであります。

私たちは世界で唯一の核被爆体験を持つ国民として核兵器がいかに悲惨なものであるかを全世界に訴え人類の永遠の存在のため核兵器の廃絶を求めていかなければなりません。

平和を愛し平和を守る市民とともにここに非核平和都市を宣言します。

(昭和59年8月6日制定)